



第24回 議会報告会

『市民と議会のつどい』

平成30年9月28日（金）

19時00分～ 議会報告会 開会

午後7時より

アイプラザ半田 研修室

議長 開会挨拶

19時05分～ 各常任委員長から議会報告

- ・総務委員会
- ・文教厚生委員会
- ・建設産業委員会
- ・報告質疑

19時40分～ 休憩

（この休憩時間中に質問複写用紙を回収させていただきます）

19時55分～ 意見交換会

20時30分 議会報告会 閉会

（21時まで延長可）

副議長 お礼挨拶



— 報告資料 目次 —

総務委員会	P 1
＊自治区の組織力強化	P 2
＊半田病院 収益的収支	P 3
＊半田病院 人材確保	P 4
文教厚生委員会	P 5
＊放課後児童健全育成事業 入所児童奨励費	P 6
＊小中学校空調機設置事業 実施設計委託料	P 7
＊スクールカウンセラー派遣事業 スクールカウンセラー謝金	P 8
建設産業委員会	P 9
＊老朽化建築物取壊促進事業	P10
＊ごみ減量対策事業	P11
＊JR半田駅前土地区画整理事業	P12

平成30年
9月定例会
総務委員会

主な所管

**総務・企画
財政・防災
市立半田病院**

P1

平成29年度 一般会計決算審査(市民協働課)

総務委員会①

◇自治区の組織力強化

事業内容 コミュニティ活動を支え、地域自治の基本組織である自治区への加入促進に努めます。また、課題の共有を図ると共に、自治区あり方の検討をすすめます。

質疑 (一部抜粋)

Q. 自治区に加入しない理由には何がありますか。

A. 単身世帯や核家族化が進み地域の繋がりへの希薄が進行している。コミュニティ活動や地域活動への無関心が進んでいることによるものです。

Q. 自治区活動やコミュニティ活動に参加した割合はどのような状況ですか。

A. 目標値70%に対して平成30年度 4.91% 現時点では、目標値を達成しておりません。今後も地域社会の形成に繋がる事から達成に向けて努力します。



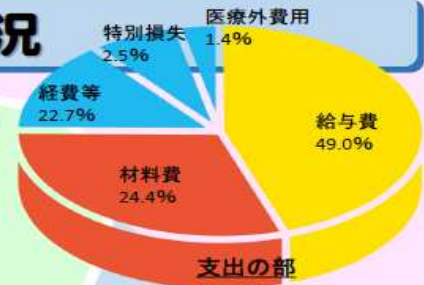
P2

◇半田病院 収益的収支の状況

質疑

(一部抜粋)

収入：125億6,939万円(税込)
 支出：126億9,150万円(税込)
 △1億2,211万円(税込)



決算額

Q. 9年ぶりの赤字決算になった主な要因についてお聞かせください。

A. 研修医数が足りなかったり、診療報酬を多く稼げる診療科の医師が手薄になったことによるものです。

対応策

Q. 対応策はあるのでしょうかお聞かせください。

A. 今後は、名古屋大学の医局とのパイプを更に太くして必要な診療科に対し、経験豊かな医師を派遣して頂けるよう努力します。

P3

メモ

◇半田病院 人材確保

医師・看護師等の確保

Q. 新規で入った看護師の離職についてお聞かせ下さい。

A. 平成29年度は12.5% 4名の離職で、そのうち2名がメンタル面によるもの、2名が看護師以外へ転職が理由です。

Q. 充足してない看護助手、メディカルアシスタントの確保についてお聞かせ下さい。

A. メディカルアシスタントが定数の33名に届いていません。理由は資格を全く必要としていない為、医学用語の知識がなく合わない理由等から退職に至っています、今後は教育管理体制の充実や医師、看護師の負担軽減を図ります。



P4

メモ

平成30年
9月定例会

文教厚生委員会

主な所管

福祉・教育
健康・子育て支援



P5

平成30年度 一般会計補正予算(子育て支援課) 文教厚生委員会①

◇放課後児童健全育成事業 入所児童奨励費

予算額/4,064万4千円

事業内容

ひとり親家庭や共働き世帯などの子育て支援、生活に困窮する母子家庭などの経済的支援として、放課後児童クラブ(学童保育)保育料の保護者

負担の軽減を図ります。

区分	小学1~4年生	給与収入(参考)	割合見込
前年度分の市町村民税非課税世帯	9,000円	~約260万円	8.21%
前年度分の市町村民税課税世帯で所得割の額が次の区分に該当する世帯	48,600円未満	7,000円	8.30%
	48,600円以上 97,000円未満	5,000円	15.29%
	97,000円以上 301,000円未満	3,000円	59.94%

質疑

(一部抜粋)

Q. この事業のみで子育てや教育への保護者の不安は解決できません。子育て支援施策について、市として計画を立てて取り組んでいく考えはありますか。

A. 現在策定を進めています第2期子ども・子育て支援事業計画において、本市の子育て支援施策全体を体系化して計画的に取り組んでいきます。

P6

◇小中学校空調機設置事業 実施設計委託料

予算額/小学校4,278万6千円・中学校1,902万6千円

事業内容

暑さから小中学校の児童生徒を守るとともに、教育環境の向上を図る

ため、普通教室などに空調設備を設置するための実施設計を行います。

設置時期は来年6月末までに全クラス(約400室)に設置する予定です。ただし、機器の確保などから再来年の夏までになる可能性もあります。



質疑

(一部抜粋)

Q. 子どもたちの安全のため早急に設置は必要ですが、近いうちに学校校舎が改修・建替された場合、設置された空調機はどうなりますか。

A. 今回普通教室へ設置しますので学校校舎が改修・建替される際は、設置予定がない特別教室に移設することを検討していきます。

P7

メモ

◇スクールカウンセラー派遣事業

スクールカウンセラー謝金

決算額:550万3千円

事業内容

市内中学校6校と小学校4校に、愛知県よりスクールカウンセラーが配置されていますが、市費で小学校に3名を追加配置(計13名)して、全小中学校に派遣しています。また中学校は市費で2時間上乗せして、週1回8時間程度の相談時間を設けています。

質疑

(一部抜粋)

Q. 小中学校への追加派遣を行った成果をどのように考えていますか。

A. 以前は児童生徒や保護者との相談が中心でしたが、現在は教員からの相談が増えています。専門家に相談できる体制が整ったことで、教員から児童生徒へ適正な指導や助言が可能になったことが、成果であると考えています。



P8

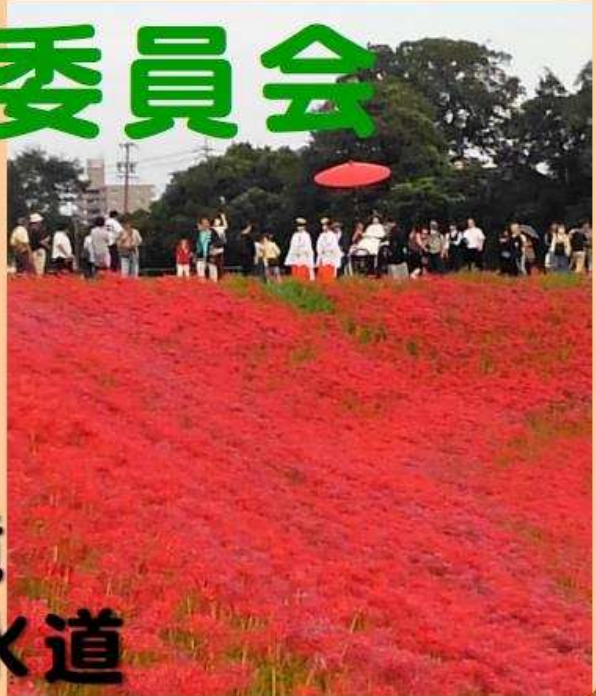
メモ

平成30年
9月定例会

建設産業委員会

主な所管

建設・環境
経済・観光・水道



P9

平成30年度 一般会計補正予算(建築課)

建設産業委員会①

◇老朽化建築物取壊促進事業

当初予算123万4千円 ⇒ 補正後1,654万8千円

事業内容

「ブロック塀等撤去に関する補助制度の拡充」

従来 : 最大10万円、撤去費の1/2 ⇒

見直 : 最大20万円、撤去費の2/3

(平成30年度実施予定数152件)



質疑

(一部抜粋)

Q. 大阪地震では通学路でブロック塀が倒れ、尊い命が失われたが、半田市でそのような事が起こってはならない。特に通学路や避難路等の危険個所については全て把握し、撤去できるよう事業を推進しなければならないと考えるが、半田市の考えはいかがでしょうか。

A. 自治区の協力を仰ぎながら撤去が進むよう努力していきます。

P10

◇ゴミ減量対策事業 (有料化を検討)

510万4千円

事業内容

家庭ごみの目標を定め、生ごみの水切りや資源分別の徹底等をPRするとともに、更なるごみ減量、資源化の推進。

目標:567g/日・人 ⇒ 実績:575g/日・人



質疑

(一部抜粋)

Q. 平成34年オープンのクリーンセンターへのゴミ持ち込み量は510g(1日1人当たり)以内と定められているが現状の愛知県下54市町村中、43位と排出量が多い。現状を抜本的に改革していく必要があるが半田市はどうとらえていますか。

A. 基本計画を策定し、広域化に間に合うように進めていきます。

P11

メモ

◇JR半田駅前土地区画整理事業

1億541万円

事業内容

JR武豊線連続立体交差化事業と合わせて行う用地取得、物件移転等。



質疑

(一部抜粋)

Q. 事業期間は平成46年までとなっているが、工事の終了時期はいつになるのでしょうか。

A. 工事期間は、JR武豊線連続立体交差化事業の工事完了に合わせた、平成39年度を予定しています。

P12

メモ